

被災者支援システム Ver5.01 での変更点について

1. 各サブシステムでの住所入力時の住所コードの扱いの変更

住所コードについては、郵便番号検索、または町名選択による自動設定のみで、直接入力ができませんでした。場合により、郵便番号検索による自動設定ができない事があるため、直接入力ができるように変更しました。なお、被災者台帳の被災時住所と、被災住家等台帳の物件所在地については、被災者台帳 Excel の出力や被害状況集計表で住所コードが必要となるため、入力を必須としています。

2. 所関連システムの避難者情報の世帯単位での更新方法の変更

世帯単位での避難者情報の更新では、「退所日」および「退所先および電話番号」の更新のみ可能なように変更しました。

3. バグ対策

以下のバグ対策を行いました。

【被災者支援システム】

- ・被災者台帳、被災住家等台帳（Excel 帳票）の表示内容が間違っている場合がある
- ・被害状況一括登録処理で登録エラーとなる場合がある
- ・居所変更、避難所退所操作で個人履歴が正しく作成されない場合がある
- ・災害弱者検索で、住所が表示されない場合がある

【避難所関連システム】

- ・避難者検索で「食事抽出・高齢者抽出・乳児抽出・障害者抽出」の対象人数が表示されない
- ・避難者 Excel 取込処理で更新内容が反映されない場合がある

【その他】

- ・総合メニューが正しく表示されない場合がある
- ・共同利用で複数災害のセットアップを行った場合、災害選択画面が表示されない
- ・32 ビット機で、個人・世帯番号が 2147483647 を越えるデータがある場合、番号による検索ができない